

令和5年度 第4回北杜市障がい者施策推進協議会 会議録

(1) 会議名 令和5年度 第4回北杜市障がい者施策推進協議会

(2) 開催日時 令和6年2月19日(月) 13時30分～

(3) 開催場所 北杜市役所本庁 西会議室

(4) 出席者(敬称略)

出席委員

岡田宗一郎、小松二三子、大柴政敏、中沢朝征、藤巻真美、飯室正明、津田健夫、
伊部和寿、清水毅

欠席委員

大塚鈴枝、小澤亮、山縣初美、坂本誠

事務局

清水市三(福祉保健部長)、鷹左右紀(教育総務課長)、向井幹裕(介護支援課長)、白
倉充久(健康増進課長)、斎藤栄慶(こども保育課長)、津金胤寛(ネウボラ推進課長)、
櫻井義文(福祉課長)、浅川清司(かざぐるま)、小尾さつき(障害福祉担当L)、平澤
薫(障害福祉担当)

会議録署名委員

伊部委員、飯室委員

(5) 議題

(1) パブリックコメントの結果報告について

(2) ほくと障がい福祉プラン最終案について

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 0名

(8) 審議内容

1 開会のことば

(事務局)

これより令和5年度第4回障がい者施設推進協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日の出席者は9名となります。障がい者施策推進協議会設置条例第6条に規定する過半数の出席がありますので、本日の会議を成立することを報告いたします。

それでは、小松会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ

(小松会長)

お忙しい中、ありがとうございます。早いものでこのメンバーで行う協議会は本日が最後となります。委員の皆様におかれましては、長きにわたり本協議会においてご尽力いただき、誠にありがとうございました。今回は計画の最終案についてご協議をよろしくお願いいたします。

(事務局)

この会議は北杜市障害者施策推進協議会設置条例第4条の規定により、公開、非公開の決定を開催前にあらかじめ決定することとされております。同4項第3条において、原則として公開すると規定されており、開催通知にて公開の是非をお伺いしたところですが、ご意義等ありませんでしたので本日の会議を公開といたします。

本日は傍聴の申し出はありませんでしたので、報告させていただきます。

それでは議事に移ります。この先の進行につきましては、会長が議長となりますので会長にお渡しいたします。

(小松会長)

議事に入る前に、本日の会議の議事録署名人を選任したいと思います。議事録につきましては、北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条に基づき、協議会で指名する者2名の署名人が必要になります。今回の署名人につきましては、伊部委員と飯室委員のお二人にお願いしたいと思います。なお公開ですので、議事録は市のホームページ等で公開いたしますのでご承知おきください。また、公開に際しましては、発言者の氏名は公表されません。

3 議事

(1) パブリックコメントの結果報告について

(2) ほくと障がい福祉プラン最終案について (事務局より資料説明)

■質疑応答・意見

(委員)

この協議会での計画の進捗評価は3年ごとにやるのか、1年ごとの報告になるのか確認させてほしい。

(事務局)

障がい者計画は6年、障害福祉計画・障害児福祉計画は3年ごとの計画となっている。今後、計画策定時以外の年は年に1~2回協議会を開催し、実績値や施策の進捗状況について報告させていただく。

(委員)

パブリックコメントの意見が3人ということで、少なくて寂しい気がするが、他の計画ではどうか。

(事務局)

計画によって異なるが、参考までに現在北杜市で同時に策定を進めている計画では、病院関連の計画が9人、11件、介護保険事業計画は3人という実績となっている。

(3) その他

(委員)

先ほどこの会議で現在の委員の任期が終わるということだが、評価検証をする協議会の委員はまた別

に選出され、招集されるということか。

(事務局)

ご指摘の通りである。令和 6 年度から新たに 3 年を任期とする委員をお願いし、委嘱させていただく形となる。毎年、年に数回となるが、計画の中身について実績報告をさせていただく。

(委員)

もう一つ、意見となるが、計画内容の半分は民間の事業者がやっていくことだと思う。なかなか計画の進捗が難しい状況ではあるかと思うが、令和 6 年から事業者は市町村からニーズや充足の状況などを県に報告していくことになる。また地元の声や事業所の状況などを共有いただければと思う。

また、パブリックコメントにもあったように、「かざぐるま」が相談に関わる橋渡しの役割や拠点を担っているので、職員さんも大変だとは思いますが、機能を充実させていく方向でお願いしたい。

(委員)

北杜障害福祉プラン案の 75 ページの成果目標についてうかがいたい。現状と課題の記述に、「施設入所者数は減少傾向にあるが、地域移行者は前計画期間内で 0 人と進んでいません。グループホームやサービス事業所数の不足、地域生活に対する不安などが要因と考えられる。」とあり、それに対して、目標達成に向けた取組の方向性には、「グループホーム数、サービス事業所数の充実を図ることで地域移行を促進します。地域生活の不安解消に向けた相談支援体制の充実により地域移行を促進します」と書かれてある。これについて、令和 8 年度までにグループホーム数やサービス事業所数が確実に増えるという見込みの中でこの目標を立てているのかどうか確認させていただきたい。市民もこの目標が本当に達成できるのかという疑問を感じると思う。

(事務局)

施設入所者数を減らして地域移行を促進し、グループホーム等の地域移行を促進しなさいという意味で目標になっているところだが、確実に拡大できるという見込みはないため、充実を図るという書きぶりにとどめている。確実ではないが、充実に向けて施策を行うということを目標に設定しているため、このように記載している。

(委員)

これは実現可能な目標なのだろうか。実際に現場で支援されている方々の観点をお聞きしたい。

(委員)

地域の受け皿は進んでいない状況で、グループホームの数が少ないという実情がある。入所からグループホームへの移行は難しいと感じている。また障害基礎年金などの限られた収入では生活できないという費用の面からも進まないという実情がある。

(委員)

近年、施設入所者数とグループホーム入所者数が逆転しており、グループホームの方が利用者数は上回っている実情はあるが、北杜市ではまだ施設数が少ないのが現状である。

今回の国の方針ではグループホームの報酬も上がってきているし、日中対応のグループホームも増えてきている。地域の支援者、ご家族、地域の方による検証の場を設けなさいということも言われていて、運営自体が問われているところもある。そのような中で、事業者も負担を感じており、どうグループホームの運営を進めていくか、北杜市においてどのくらいニーズがあったかということも踏まえながら考えていく必要がある。

(事務局)

今のご意見を踏まえつつ、また地域のニーズを把握していくように努めてまいりたい。

(委員)

12月に選挙があり、山梨県聴覚障害者協会の理事に立候補させていただき、来年度から理事を務めることになった。聴覚障害者のための老人ホームを立ち上げたいと考えている。全国を見ると、視覚障害者の老人ホームは各都道府県に1箇所くらいあるが、聴覚障害者のホームは全国で8箇所しかないため、施設を立ち上げたい。介護福祉士、看護師、手話ができる人が少ないというのが山梨県の現状としてあるため、これから呼びかけていきたい。

4 閉会

(事務局)

委員の皆様には貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

現委員の皆様の任期は3月末までとなります。長きにわたりご尽力いただき、誠にありがとうございました。

以上を持ちまして令和5年度第4回障がい者施策推進協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

以上

議事録署名委員

議事録署名委員